

# 【第1回】石狩市総合戦略推進懇話会開催結果報告書

平成28年8月19日

【日時】 平成28年7月26日（火）15:00～17:00

【場所】 石狩市役所3階庁議室

【出席者】 15名（16名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	角川 幸治	○	委員	佐藤 勝彦	○	委員	原 俊彦	○
副会長	竹口 尊	○	委員	白井 かの子	○	委員	松崎 英樹	○
委員	木村 秀裕	○	委員	高梨 朝靖	○	委員	向田 久美	○
委員	河野 明美	○	委員	徳光 康宏	○	委員	山本 秀俊	○
委員	小林 卓也	○	委員	芳賀 武士	○			
委員	酒井 志津子	○	委員	林 美香子	×			

※正副会長を除き、あいうえお順

□オブザーバー 北海道石狩振興局地域創生部：田辺部長、高田地域政策課主査

□事務局 石狩市企画経済部：小鷹企画経済部長、本間企画課長、  
池内企画担当主査、橋本企画担当主任

【傍聴者】 0名

- 【次第】
1. 開会
  2. 委嘱状交付
  3. 会長・副会長の選出
  4. 総合戦略推進懇話会について（事務局説明、意見交換）
    - ・概要・スケジュール等について【資料1、2、3】
    - ・平成27年度実施事業の点検・評価等について【資料4】
  5. その他
    - ・まちづくり市民会議兼第2回総合戦略推進懇話会について【資料5】
  6. 閉会

## ==== 会議内容の記録 =====

以下、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨。

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

### 3. 会長・副会長の選出

会長には石狩商工会議所青年部の角川委員、副会長には石狩市連合町内会連絡協議会の竹口委員が選出された。

<事務局からの確認事項（審議会の進め方について）>

- 議事録については要点筆記とし、会長が確認した上で委員に配布する。
- 傍聴者の意見については、文書での提出を認める。  
※事務局からの提案について、委員異議なしとのことから承認された。

## 4. 総合戦略推進懇話会について

- 「概要・スケジュール」について事務局より説明【資料1、2、3参照】
- 平成27年度実施事業の点検・評価等について【資料4参照】

### 質疑・意見

<「平成27年度実施事業一覧（資料4）」に基づき実施事業の点検・評価>

※以下の「No.」については、資料4の番号

#### （1ページ：No.3 重要業績評価指標「高齢者クラブ新規加入数」について）

○高齢者クラブ新規加入者数は目標よりも新規加入者が多かったが、年度内の退会者274名については自然減なのか。

●転出や死亡などの自然減がほとんどだと所管課から伺っている。

○高齢者クラブの新規加入については、何か特別な手法を検討しなければ今後減少していくと思う。

#### （1ページ：No.4 具体的な事業「高齢者ふれあいサロン事業展開のサポート」について）

○ふれあいサロンは会館を利用して実施しているが、居住地区から会館まで距離がある方や、他の行事が入った場合に会館の利用ができないといった制約がある。本来のふれあいサロンは近くの空き家等を利用し、いつでも下駄履きで行き、お茶を飲んだり、囲碁や麻雀を行うといったことが必要ではないかと思う。空き家を貸しても良いと言う人もいるが、管理の問題や事故があった際の問題などがあり、行政が仲介に入らなければ具体化できない。私達の高齢者クラブでは、空き家等を活用して、住民に身近な地域社会におけるふれあいサロンを検討している。

#### （2ページ：No.10 具体的な事業「農漁業者結婚支援事業」について）

○農漁業者結婚支援事業の対象者が市内に何人いるのか。実際にどのくらいの対象者がおり、どういうニーズがあるのかといったことを調べておいたほうが良いと考える。

●所管課に確認する。

#### （9ページ：No.62 具体的な事業「空き家活用促進事業」について）

○移住・定住のほかにコミュニティビジネスの創業支援を図るとなっているが、どういう業種の方が活用しているのか。

●コミュニティビジネスの創業のために空き家の活用は無く、空き家を改修して住んでいる方が全てである。

○今、石狩には若い人が転入してきており、私の町内会にも昨年2件入ってきた。花川北地区は1,000～1,500万円で4～5LDKの中古の一戸建てが購入できるため、子どもが多い世帯が入ってきている。

### 意見交換

#### <移住について>

○浜益に移住してきた人が2人おり、その人は浜益には山や海があり、畑で自給自足も出来るので幸せな老後を過ごせる地域だと話している。浜益をそういったコンセプトでPRすることはできないか。

- 婚活と空き家を融合してはどうか。例えば小学校の廃校などの施設を活用して、女性陣が1～2ヶ月住み込み、男性陣と一緒に農業に従事し、理解してもらうことで具体的に進むかなと思う。
- 移住を進めるにあたり、病院や交通機関などのハード整備も並行したほうが具体的な戦略になるのではないかと思う。
- 例えばインターネット上に「石狩市に住みましょう」というものを立ち上げて、移住希望者が「学校の近く」や「飲食店の近く」などの希望の項目を入力し、市が斡旋する。その人の気持ちに合わせた形で移住施策を進めなければならないと思う。
- 石狩は、公園が多いことや保育園は待機児童がいないこと、また買い物にも行きやすい、バスは本数が多く便利が良いなど子育てしやすい、住みやすいまちだと思う。先ほどの婚活と空き家の融合のお話しだが、石狩にはグリーンサポーター制度があり、アルバイトが気軽に出来る。いきなり就農というと敷居が高いため、アルバイトをしながら農業に従事し、就農を考えるような環境を作っていないかと思う。
- 例えば農業に関わる専門家等呼び、女性の方には1～2ヶ月就農体験をしっかりとやっていただくことで、石狩が住みやすいといったことも理解出来るのではないかと思う。そこで結婚した場合は、利用していた空き家等をそのままリフォームして住んでもらうことも考えられるのではないかと思う。
- 他市町村では、建物を建てて夏の間だけ住んでもらい、メロンやとうもろこしの栽培をお手伝したり、別の市町村では、後継者がいない農家と研修させた第三者をマッチングして廃業にならないように取り組んでいる。そういうシステムがあると、新しい人が入り、後継者がどんどん育ち、新産業や雇用が生まれていくと思う。新規就農や後継者育成に予算だけ付けても、そういうシステムが無ければ農業しやすい魅力ある土地に人材を逃しているのではないかと思う。
- 個々の事業自体がそれぞれ実施されているため、もっと連動させれば良いと思う。1つのコンセプトで複数の事業を組み合わせる。例えば「石狩は子育てしやすい、仕事もある、ここに移ってきませんか」といったキャンペーンを行い、複数のプロジェクトを組み合わせ、ワンストップサービスで実施すると良いと思う。
- 空き家活用事業で農家に空き家を貸すことはできないのか。新規就農を原則とした施設を使用すると、何年間後には就農しなければならないといったハードルがあるため、空き家を農家の人が借りて、アルバイトの人が泊まって楽しく過ごすことができるような柔軟な空き家の活用が出来れば良いと思う。
- シェアハウスが良いと思う。もう少し敷居を低くして、アルバイトの選択肢の一つに農業があって欲しい。農業を身近に感じられるようになれば良いと思う。
- 例えば農業という仕事を決めてから移住するのではなく、ハードルを低くして、アルバイトの方が移住している中で将来の職業を考え、のちに農業をする、漁業をする、または違う仕事をするなど、若い人口が入ってくるきっかけになれば良いと思う。

○地域協議会では厚田小学校の有効活用として宿泊施設にしようと考えている。もう一つは来年度、厚田区の地域おこし協力隊の採用について、どういう形で地域と関わるかを検討しており、私の意見としては、厚田区の農家が高齢になってきたことや後継者がいないことなどから、「長靴を履いたシンデレラプロジェクト」を立ち上げ、女性の農業後継者に3年間しっかり農業を学ぶというプロジェクトを考えている。

○空き家の所有者の情報集約や今後どうしたいのかといったニーズ調査を行うことで活用が広がっていくものと思う。

○市民が市内の空き家について調べることができるのか。家を探している人が市に連絡すると空き家などを紹介してもらえるのか。

●今、不動産ネットワークという仕組み、受け皿はあるが、掲載情報が少なく使い勝手が良くない。昨年空き家の調査で市内に約600件の空き家、そのうち約70件の所有者は空き家を活用していただきたいと思っており、今後売却や賃貸などの詳細な情報を不動産ネットワークなどの仕組みに掲載し、情報発信できればと考えている。

●空き家対策と合わせ、地域経済の活性化や移住・定住の人口増など融合したパッケージの施策に対しての補助を検討しているところであり、その施策を検討する上で空き家の数を把握し、補助の財源などを含め考えていきたいと思っている。

### <婚活について>

○婚活は、当事者以外の第3者が実施するとやりやすい。農業者結婚支援事業は年2回開催しているが、次のアイデアが無いことなどから年々ニーズが無くなってきている。例えば「街コン」や異業種が一同に集まり開催するなどというのも良いかと思う。一つ問題なのは、田舎に住んでいると帰る手段が無く参加しづらいといったこともあるため、バスを走らせるなど仕組みを考えなければならない。

○将来的には、学校施設を有効活用した厚田の宿泊施設を活用し、夏はキャンプファイヤーやバーベキューなどを行い1泊2日で開催するのも良いと思う。厚田には恋人の聖地もある。

○結婚するには出会いの場が大切。お見合いとかではなく、独身の男女を中心とした、盛り上がるお祭りのような催し物を企画すると参加しやすいと思う。例えば、100~200人集めて、石狩の浜辺で夏の盆踊り兼お見合い大パーティーなど軽い感じで行うと良いと思う。

○趣味が合うと話しが盛り上がるため、お祭り以外にもスポーツなど色々な切り口で企画すれば良いと思う。

○気楽に参加できるものを企画する。石狩には恋人の聖地やキャンプ場などの自然や食、遊ぶ場所等が豊富なため、それらをうまく活用し、インターネット等を含め情報発信すると参加者が集まると思う。

○厚田漁協と農協の青年部が「あつた夏まつり ~俺達の2015~」を実施したところ、もの凄い人が集まったため、今お話しがあったイベントなどを中心に複数のイベントを通年で実施すると面白いと思う。冬のスノーモービルは非常に魅力的。

○婚活もそうだが、当事者の若い人達が今どう考えているのかといった意見を吸い上げる必要があると思う。話しは変わるが、スポーツでは少し整備することで外から人を呼ぶことができる施設が市内にあると思うため、宿泊施設も整備してスポーツ大会や合宿を誘致することでまちの活性化に繋がると思う。

○「婚活」と言われると恥ずかしい部分もあり参加しづらいため、イベントのような形は良いと思う。また、今お話しがあった宿泊施設については問合せが多く、市内には民宿しかないのかと言われる。先ほどお話しがあった厚田小学校の利活用だけでなく、空き家等を活用して宿泊施設や商売ができればと思う。昨年、本町の空き店舗の生鮮市場を活用して商売を始めた人がおり、地元の港で獲れた魚を購入し提供している。石狩産の海産物等を石狩で提供するといった循環が良いと思う。

○「婚活」という言葉を変えるのはどうか。例えば「石狩よる会」など。「人がよる（寄る）」、「よる（夜）に開催する」など面白いと思う。

○例えばすすきでは女性は無料といった、出会いの場を提供する酒場がある。それを参考に石狩でバーベキューの材料等は女性限定で無料提供するといった遊び感覚を取り入れた企画だと女性が参加するきっかけになると思う。

○結婚することも大切だと思うが、結婚してからのアフターフォローも必要ではないかと思う。結婚後に子どもが生まれ、子育てしていくための住みやすい環境をつくるために市が率先して行う、または市内企業等と連携し、検討していかなければならないと思う。

### <ライジングサンロックフェスティバルについて>

○石狩の地元食材を全国から来た方に味わってもらうため、3～4年前からライジングサンの会場に「石狩市場」を出店している。石狩の公認キャラクターのさけ太郎・さけ子が、オープニングの際に来場者へ挨拶させてもらっているほか、ライブにも参加させてもらっている。

○「石狩市場Tシャツ」があるのだが、このTシャツを石狩市民全員が着るようになるとライジングサンが変わるのではないかと思っている。「石狩市場」では、鍋、バーガー、ラーメン、野菜などを販売しているが、まだまだ出来るかあるかと思っている。毎年来てくれるリピーターも多くなっており、そのお客様にもっと応えていかなければと思っている。

ライジングサンの会場で蒔割り・キャンプファイヤーを行っているが、蒔割りが里山管理に繋がることや、蒔割りするエネルギーが蒔の燃えるエネルギーに変わるといったエネルギーの循環についてライジングサンを運営しているウエスは、非常に面白く思っている。ウエスはもっと石狩市に還元したいと思っており、毎年新しいことを求められるがアイデアが出てこない。例えば市内の宿泊施設にアーティストが宿泊して、石狩のことを知る、触れることが出来ればと思っている。

○昨年の市内中学校の吹奏楽部がアーティストとコラボしたのは非常に良かったと思う。今年は市内の小中高生が巨大な旗を作ってお出迎えする。石狩最大のイベントなので是非活用出来ればと思う。

### <厚田道の駅について>

○設計はほぼ固まってきたが、問題は30年からのオープンに向けて、産物が出来るかどうかが一番大き

な問題である。常時ある程度のもを確保するのはなかなか難しく、需要に見合う供給がしっかりできるかどうかといったことがある。

○着地型観光まちづくり協議会を立ち上げたのだが、観光商品の中にソフト部分が含まれる。例えば外国人が来た際にどういう対応をするかなど、現在対応マニュアルを作成しているが、観光協会等の関係団体と連携していきたいと思う。

## 5. その他

- 「まちづくり市民会議兼第2回総合戦略推進懇話会」について事務局より説明【資料5参照】

## 6. 閉会

平成28年8月19日 議事録確定

石狩市総合戦略推進懇話会 会長 角川 幸治